

■許斐氏利 特務機関長。クレ-射撃選手・右翼・特殊株主・興行師。旧日本軍慰安所設置しソーブランドを創始。

このみうじとし

明治天皇没・1912= 福岡市萱堂町で、宗像大社を護る許斐城主をルーツとする金融業者許斐茂の次男に生まれる。母は一雄。

父は養嗣子で、直前に長男たる兄が夭折していたため、唯一許斐家の血を受け継ぎ、家の再興を託され、裕福な家庭で、両親と年の離れた二人の姉から、甘やかして育てられ、人一倍の体力もあったことから、

本格政党内閣1918= 6歳：奈良屋小学校に入学した頃には、誰にも負けないガキ大将となり、\_近くの道場(雙流館)で柔道も始め、

原敬首相暗殺1921= 9歳：やがて勉学そっちのけで入り浸りとなり、\_道場に多かった玄洋社メンバーの思想的影響も受けて成長、

金融恐慌・・・1927=15歳：恐慌で家業の金融業が破綻、  
共産党事件・1928=16歳：もともと病弱だった父が死去、一家はどん底に。母と姉たちが苦勞して生活費を稼いで、通い続け、  
世界恐慌・・・1929=17歳：{雙流館}での\_千本取りに挑戦して達成、その後の人生の出発点となる“殺しの術”を身につけると、福岡工業学校を中退、先輩を頼って、京都に武者修業に出、平安中学校に入学するが、早速問題を起こし、  
海軍軍縮条約1930=18歳：立命館中学に転校、以後、どの学校でも暴力沙汰で退学処分となり、関西や九州の学校を転々、  
満州事変・・・1931=19歳：\_武道家を志して上京し、{講道館}に入門。日大三中にはいり、中学生では日本初となる柔道四段を授与されるも、早速、郷里の先輩を通じて三月事件の手先になるよう声がかかるなど、素行不良のため五段への昇段を嘉納治五郎から拒否され、暴行沙汰で東亜商業に転校、

五一五事件・1932=20歳：神田の喫茶店の看板娘福貴子に一目ぼれし結婚の承諾を得るが、\_ようやく卒業証書を手にし、明治大学政経科入学すると、今度は右翼学生団体(愛国学生連盟)に参加し、

国際連盟脱退1933=21歳：\_辻嘉六の指示で、立憲政友会の衆議院議員門田新松を襲撃。指名手配を受けて逮捕されたが、辻らの手回しで起訴猶予になるも、この事件で、せっかく五段昇格が決まっていた{講道館}から破門され、初めて涙し、武道家として立つことを断念。明治大学も退学処分となり、日本大学英法科に転じ、

帝人疑獄事件1934=22歳：拘留中に、福貴子が男子を出産、自分で勝彦と名付ける。  
芥川直木賞始1935=23歳：\_国士を目指して、政治結社(大化会)に入会。た渡欧途中の吉田茂を襲おうとして警視庁丸の内署に検挙されるが、文相鳩山一郎とは辻の紹介で毎月運動資金を貰うほどのつながりができており、不起訴となり釈放される。{大化会}の活動を通じて北一輝の書生(ボディガード)となり、

二二六事件・1936=24歳：福貴子を正式に入籍するも家庭を省みることなく、\_二・二六事件では北一輝や西田税を護衛。北らの逮捕後、憲兵の尾行を受けるようになったため、

日中戦争始・1937=25歳：\*{大化会}会長岩田富美夫の勧めで中国大陸に渡り、漢口駐在武官の長男中佐の下で関東軍直属の特務機関員となり、岩田の盟友伊達順之助から共産ゲリラ掃討を目的に射撃の訓練を受ける。経遠事件で手柄を立てた後、密書運搬の業務をなんとか果たすと、長によって、上海に送りこまれ、直後に盧溝橋事件が起こり、中国戦線最前線の情報主任参謀に返り咲いた長の活動を裏から支えて行く。

健保+総動員 1938=26歳：興亜院の設置で特務機関は公的に廃止されるが、軍の意向で、以後も、私的な特務機関として存続、\_重慶側の特務工作の真っただ中に放り込まれ、自ら許斐機関を組織、100名の特務機関員を率い、

第二次大戦始1939=27歳：\_蒙古駐屯軍の参謀長になった長男と同行、内蒙古で栽培されたケンによる阿片を用い、  
大政翼賛会・1940=28歳：帰郷し洋館を購入、妻子を迎え入れる。\_長男が新しく創設された印度支那派遣軍の参謀長に任命されたのに従って、ハノイで工作活動。

日米開戦・・・1941=29歳：上海でのテロ活動に携わるも、日本陸軍と海軍の対立に巻き込まれるのを避けて、ハノイに戻ると、日米開戦となり、少将に昇任して南方軍参謀副長兼司令部付仏印機関長となった長男から許斐機関の編成を命じられる。\_フランス本国で親独のヴィシー政権が登場すると。英米による圧力で、物資の輸入がままならなくなったのに対して、便宜を払い、総督府の役人に食い込むとともに、在留フランス人からも感謝され、  
・・・1942=30歳：次男が誕生。物資交換や友好親善の功で、\_フランス政府から、コマンドール・ドラゴン・ド・ランナン勲章を受ける一方、中国への輸送ルート確保に絡む交渉が東条英機の逆鱗に触れ、以後、長男は左遷続き、この間、マレー半島で活動する“最後の殿様”徳川親親とも交流。

敗戦・・・1945=33歳：\*米軍の沖縄上陸を上海で知り、敗戦の近いことを察知して福岡に帰還。義兄弟の盃を交わし、死を共にする約束をしていた長男を追って沖縄へ飛行を試みるも長崎県に不時着。その後、長は自決。’約束を果たせなかった’と自らの左手小指を切落とす。硝煙の臭いは忘れられず、射撃を趣味とし選手としても活躍、敗戦後、駐日米兵による日本人女性への強姦の多発を憂え、

新憲法公布・1946=34歳：いち早く\_博多に米軍専用キャバレー{ハリウッド}、米軍専用ナイトクラブ{市民会館}を創設。  
新憲法施行・1947=35歳：\_福岡県警に12件の容疑で逮捕され、BC戦犯容疑でアメリカ検察陣の厳しい取り調べを受けるが、ハンガーストライキを行い、完全黙秘を通して、精神病棟に入れられ、釈放される。上京し、旧友の磐城セメント常務斎藤次郎のもとで、私設秘書として働く。

極東裁判決・1948=36歳：  
三大事件・・・1949=37歳：上京後戻っていた久が原の自宅に、福岡にいた妻子を呼び戻し、

独立回復・・・1951=39歳：福岡県大川村の山に長男の墓碑を建立し、彼の遺言を果たす。斎藤や日活の堀久作の出資のもと、\*上海時代に許斐機関の近所あったトルコ風呂をヒントに、銀座に{東京温泉}を開業。女性がマッサージサービスを行う日本のトルコ風呂の元祖となる。’今後は政治的行動から一切離れ、実業人に徹する’決意の証に、出席者一同の前で自らの左手薬指を切落とす。硝煙の臭いは忘れられず、射撃を趣味とし選手としても活躍、

メーデー事件・1952=40歳：日大総長選めぐり紛争を調停。堀久作による新東宝の株を買占めの紛争も調停。  
TV放送始・・・1953=41歳：{夕刊フクニチ}で、児玉機関の副機関長吉田彦太郎とともに、戦前戦中の活動「昭和竜虎伝」連載。

国連加盟・・・1956=44歳：\_日本クレ-射撃協会の第3代会長に就任。メルボルンオリンピック選手としてに出場し、  
なべ底不況・1957=45歳：長男の十三回忌にあたり、その墓に胸像を建立。{東京温泉}に日本初の大型サウナ風呂を併設。

インスタントラーメン1958=46歳：\_東京で行われたアジア競技大会では優勝。  
タイタイ病始・1961=49歳：体調を理由に、日本クレ-射撃協会会長を退任。妻を連れて世界一周の旅行をし、旅先から、子供たちに愛情こもった手紙を送っている。

最大の趣味は狩猟で、散弾銃を持って全国各地に出、アフリカのサファリにも度々出かけている。また、長男の墓を建立して以降、毎月のように帰郷して墓参、かつて修業した{雙流館}を訪れて若者を指導、この間、{雙流館}に毎月5万円を送金して支援、“許斐奨学金”と名付けられる。

いざなぎ景気1966=54歳：{雙流館}の15代館長が急逝すると、後を継いだ長男を助けて、その再建に乗り出し、  
震ヶ関ビル・1968=56歳：社団法人化を実現して、初代理事長に就任。

石油ショック1973=61歳：  
ケアンブル事件1975=63歳：

成田衝突・・・1978=66歳：\*{東京温泉}社長を譲って社主となった後、  
貿易摩擦問題1980=68歳：\_胃癌が判明して入院、多くのナゾを残したまま、没した。